



板垣君遭難之圖

本多正直
伊東一誠

一陽齋豊宣画



版 西國吉川町三番地
元 松本平吉
西 本町前戸町四番地
工 歌川金太郎
彫工 銀次郎

板垣退助君



大野齊一

内藤曾一



相原尚葵

後藤秀一



今茲に自由の本鐸民権の泰斗と
世人の仰ぎ自由黨總理高松誠
正四位板垣退助君とて稱せんとす
たゞ兒漢愛知縣士族相原尚葵ハ何
等の起まつり思ひ立ち老成の老を
維新の元勳を譽徳望を得て各府縣
至る處君と敬慕す恰も聖恩の其
慈母に於ける如御 今四と西四仕侍
徒勅使とて金三百圓を下賜せられたり
又各地方より異同を稱せ代或は連く使を馳
せ或は厚く賜て多くと褒め奉りて
知代尚葵の首領と號する其當り與廣小
関等と是上へ思ひ又奉りて奉りて
益王位で又相原の弟助ふりんと以
敬誠の一助をもなれりと書く





板垣君遭難之圖



竹内編

早川啓一

伊東一藏

本多正直

板垣退助君

一陽齋曲豆宣画



彫工銀次郎

版 西國吉川町二番地
元 松木平吉
画 本所龜戸町四十一番地
五 歌川金太郎





大野 齊一

内藤 魯一

相原 尚聚





今茲に自由の木鐸民権の泰斗と
 世人を仰ぐ自由黨總理菅野參議
 正四位坂垣退助君と暗殺せんとす
 たる兇漢愛知縣士族相原尚聚ハ何
 等の趣意より思ひ立ちし者歟其君を
 維新の元勳名譽徳望を得て各府縣
 至る處君を欽慕する恰も嬰兒其
 慈母を於けるが如御 今回も西辻侍
 徒勅使として金三百圓を下賜せられたる
 又各地方より異同を誦せたり或は遠く便に死
 せ或は厚く賜ふなりと嘆息幾千萬あると
 知る尚聚は首領と笑ふ其黨の與廢小
 関はると思ふと思ふ又甚き事なり正理
 益至依て必ま粗暴の挙勃ふらん其
 教誡の一助もなれり」と書盡く

相原尚聚

後藤秀一

